

「第3次胎内市男女共同参画プラン21（案）」に関する パブリックコメント（意見募集）の結果について

【意見募集の期間】 令和2年2月10日（木）～2月29日（土）

【意見総数】 2通 8件

※同じ方から複数のご意見をいただいた場合は、それぞれ1件として計上している。

【意見の概要及び市の考え方】

以下の表のとおり。

※提出いただいたご意見を、事務局の責任において整理しています。

第2章 基本計画の内容

基本目標1 人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり

重点目標2 男女平等を推進する教育・学習の充実

	意見の概要	市の考え方
1	指標の算出方法としているのに、中学生アンケートの説明がされていない。【現状と課題】部分において説明されるべき。	ご指摘を踏まえ、中学生アンケートについての説明を追加します。
2	「保育園、こども園」で「主体的に行動する能力・態度」を身に付けさせるのは無理があるのではないか。このような教育は学校でなされるべきではないか。	ご指摘を踏まえ、「保育園、こども園及び学校」、「成長に応じた主体的に行動する能力・態度」に修正します。
3	施策の方向（1）具体的施策③、④は現在の教育において既に行われていることなのではないか。現状に即し、例えばキャリア教育など、より具体的なものにするべき。	ご指摘を踏まえ、③、④の内容を見直し、「学校において、男女平等の視点を基盤に夢や希望をかなえるために、自立して生きる力を育むキャリア教育の充実に努めます。」に修正します。
4	施策の方向（2）の【現状と課題】において、説明の流れを見ると、中学生が「男（女）だから〇〇しなさい」と言われたのは、教育関係者からであるように見えるが、主に誰からこのようなことを言われているのか。言ったのが教育関係者なのであれば、この表現のままでよいと思うが、主に家族から言われているのであれば、表現について誤解を招かないようにしたほうがよい。	中学生が「男（女）だから〇〇しなさい」と言われたのは、主に家族からであるため、ご指摘を踏まえ、「男女共同参画の視点に立った教育をおこなうためには、子どもの教育に対する家庭や地域の積極的な参画を支援し、連携することに加え、教育関係者に対する研修を充実させることが大切です。」に修正します。

5	施策の方向（2）具体的施策③について、「指導」という表現でよいか。男女平等「を推進します。」等に改めたほうがよいと思う。	ご指摘のとおり修正します。
---	--	---------------

基本目標Ⅳ 元気に安心して暮らせるまちづくり

重点目標 1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援

	意見の概要	市の考え方
6	施策の方向（2）の【現状と課題】において、「女性特有の更年期疾患」という表現は差別的に感じる。更年期疾患は男性にもあるので。	ご指摘のとおり、「女性特有の」の部分を削除します。
7	施策の方向（3）具体的施策①において、「宿泊体験学習、修学旅行」が男女共同参画にどう結び付くのかわからない。	ご指摘を踏まえ、「宿泊体験学習、修学旅行」の部分を削除します。

その他

	意見の概要	市の考え方
8	SDGsについても計画の中に盛り込んだ方がよい。	ご指摘を踏まえ、プランの最終頁に「胎内市男女共同参画計画における SDGs の取組について」を追加します。